

令和2年度
事業報告

社会福祉法人 博愛会

ハートニー松葉

目 次

I. 法人事業報告

- 1. 令和2年度総括.....2
- 2. 新型コロナウイルス感染症への対応.....3
- 3. 運営.....3

II. サービス事業別報告

- 1. 軽費老人ホーム ケアハウス ハーモニー松葉.....12
- 2. 老人デイサービスセンター ハーモニー松葉.....20
- 3. 介護予防体操教室事業.....25

I. 法人事業報告

1. 令和2年度総括

重点的取組みであった運営と経営の安定化について、前年度から猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染拡大の影響により特にデイサービス事業の収入が落ち込み、デイサービス事業の経営状況は厳しかった。三密を避け、ソーシャルディスタンスを保つために受け入れ人数を制限したことから緊急事態宣言発令中の利用控えに加え、令和3年1月のデイサービスの3日間の自主休業が収入減少の大きな原因となった。ケアハウス事業は感染症の影響を受けつつも安定しており、デイサービス事業の収益の減少をケアハウス事業の収益で補填する形となった。

運営面では、感染症対策の徹底を行い、新しい様式での生活を行うために変化を求められる一年であった。行事・食事中の会話・会食の自粛とソーシャルディスタンスを保つために入居者間、利用者間でのコミュニケーションの機会が減り、多くの入居者がストレスを抱えているように見受けられたが、新しい様式に徐々に慣れてこられてきた。入居者懇談会を随時開催して、随時新型コロナウイルスについての情報を伝え、感染予防を徹底しながら心身機能が低下しないように散歩や屋外での運動を積極的に促した。職員については、感染症対策を行うことで業務量負担が増え、感染するかもしれないという不安を抱えながらの業務で心身の負担は大きいですが、緊張感をもって任務にあたった。

また、もう一つの重点的取組みである人事考課制度の充実について、働き方改革に従って無理なく労働できるように超過勤務時間を減らすように業務の見直しを行い、正規職員では前年比でほぼ変わらなかったが、非正規職員では大幅に減少することができた。

コロナ禍でも施設としてできることは行うという方針でケアハウス内での軽体操やウォーキングは自粛することなく継続した。地域貢献活動であるやのくち子ども食堂は入居者からのメッセージを書いた掛け紙を使った弁当を事務所前で受け渡しするという形式で再開した。将来的な地域交流の場として見据えた稲城市内の有志によるミニマルシェ（出張販売）を開始したが、新型コロナウイルス感染拡大のために5カ月間で自粛し再開未定とした。

基本方針に掲げているように入居者・利用者・家族等にとっての利用価値、職員にとっての所属価値、地域にとっての法人の価値を向上させていく。コロナ禍でいかに法人としての責務を果たし、利用者・職員にとって魅力的な法人であり続け、地域に貢献していくかを模索し、実現していく。

2. 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 施設独自の「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成した(令和3年2月)
 ・ソーシャルディスタンスを保つ・定期的な換気・声を出す機会を最小限にする・アルコールや次亜塩素酸ナトリウムによる拭き上げ・アルコールによる手指消毒・検温の記録等の基本的な感染対策と感染時の対応方法について、場面毎(食事・面会・送迎・来訪・外出・職員間)、対象者毎(職員・利用者・入居者・家族・その他来訪者)、場所毎(食堂・廊下・浴室・職員室)、時間毎(四季・時間)にルール化し、周知徹底を図った。

(2) 衛生用品等の寄付物品を受けた

・布マスク 70 枚(厚労省)、サージカルマスク 1,080 枚(東京都社会福祉協議会)、サージカルマスク 100 枚(NPO 法人)、介護用エプロン・介護用手袋・ゴーグル多数(稲城市)

(3) 東京都新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金の交付を受け、全職員へ5万円慰労金の支給と施設内の衛生用品の整備を図った

東京都緊急包括支援金 内訳 (単位：千円)

	慰労金	衛生用品・ 物品購入等	合計
ケアハウス	1,200	1,116	2,316
デイサービス	1,150	905	2,055
合計	2,350	2,021	4,371

(4) 令和3年1月の当デイサービスセンター利用者陽性判明時の自主休業

・保健所からの指示はなかったが、法人判断で令和3年1月22~24日までケアハウスの居室待機と外部サービスの利用中止と、1月22~25日までデイサービスの自主休業を行った。また、安全を期すためケアハウス全員、デイサービスの当日利用者全員、関わりのある全職員対象にPCR検査を行った(81名全員陰性)。

3. 運営

(1) 役員、評議員、評議員選任・解任委員(令和2年4月1日現在)

役職	定数	氏名
理事	6	城所正彦(理事長)、角田等(業務執行理事)、宮澤秀弘、洲上宏美、吉野貴美子、青木正文
監事	2	河村保正、木村重樹
評議員	7	中尾智、鈴木恵子、鹿島正二、笹久保博子、原田勝子、今泉浩史、西畑博仁

評議員選任・ 解任委員	3	角田享（外部委員）、木村重樹（監事）、浅利洋平（事務局）
----------------	---	------------------------------

（２）理事会開催状況

回	実施年月日	理事 出席数	監事 出席数	主要な付議案件	審議結果
1	5月20日 （理事会 決議の省略）	6 （同意 書）	2 （確認 書）	第1号議案 令和元年度事業報告について 第2号議案 令和元年度決算報告について 第3号議案 令和2年定時評議員会招集決議について	可決 可決 可決
2	10月26日	6	2	第4号議案 定款の一部改正について 第5号議案 給与・退職・旅費規程の一部改正について 第6号議案 就業規則の一部改正について 第7号議案 ケアハウス入居手続き（書）の一部改正について 第8号議案 運営資金の一時借り入れについて 第9号議案 令和2年度補正予算（第1号）について 第10号議案 令和2年度第2回評議員会招集決議について 報告 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
3	2月10日	5	2	第11号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第12号議案 次期評議員候補者の推薦及び選任・解任委員会の開催について	可決 可決
4	3月25日	6	2	第13号議案 令和2年度補正予算（第2号）について 第14号議案 令和2年度積立金の積立について 第15号議案 運営規程（デイサービス）の一部改正について 第16号議案 令和3年度事業計画について 第17号議案 令和3年度当初予算について 第18号議案 苦情解決第三者委員の選任について 第19号議案 評議員選任・解任委員会の報告について 報告 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

5月20日第1回理事会は第1回目の緊急事態宣言発令中であり、理事会の決議の省略を行った。定款に定められている通り、理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告は4カ月を超える間隔で2回以上行った。

(3) 評議員会開催状況

回	実施年月日	評議員 出席数	監事 出席数	主要な付議案件	審議結果
1	6月2日 (評議員会 決議の省略)	7 (同意 書)	2 (確認 書)	第1号議案 令和元年度事業報告の承認について 第2号議案 令和元年度決算報告書の承認について 第3号議案 令和2年度事業計画の承認について 第4号議案 令和2年度予算の承認について 第5号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の改正について	可決 可決 可決 可決 可決
2	10月26日	7	2	第6号議案 定款の一部改正について	可決

6月2日定時評議員会は第1回目の緊急事態宣言発令後であり、評議員の決議の省略を行った。定款に定められている通り、会計年度終了後3カ月以内に1回開催し、定款の一部改正のため、臨時で開催した。

(4) 監事監査結果

令和2年5月11日(月)に当法人の監事による令和元年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

(5) 法人借入金償還状況

※元金のみ

(単位：千円)

借入先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	用途
(独) 福祉医療機構	165,300	157,040	8,260	8,260	施設設置・ 整備資金
(独) 福祉医療機構	20,000	0	0	20,000	経営資金

※20,000千円の借入については、令和2年10月に借入れ、令和7年から償還開始、令和12年で完済予定。

(6) 人事管理・人材育成

①職員人事異動状況(令和2年度中)

部門	採用		退職	
	ケアハウス	デイサービス	ケアハウス	デイサービス
正規職員	0名	0名	0名	1名
非正規職員	4名※1	4名※2	5名※3	5名※4
合計	4名	4名	5名	5名

※1 介護職員1名、事務員1名、宿直員2名 ※2 介護職員4名

※3 事務員1名、用務員1名、宿直員3名 ※4 介護職員4名、運転手1名

採用8名、退職10名であった。宿直員が1名欠員となっている(令和3年3月31日現

在)。

②職員配置状況（令和3年3月31日現在）

○ケアハウス部門 実人員：17名

	正規職員	非正規職員
施設長	1（兼務1）名	
生活相談員	1名	
介護職員	1名	1名
事務員	1名	2名
用務員		5（兼務2）名
宿直員		5（兼務2）名
合計	4（兼務1）名	13（兼務2）名

○デイサービス部門 実人員：24名（うち1名育児休業中）

	正規職員	非正規職員
管理者	1（兼務1）名	
生活相談員	1名	1（兼務1）名
看護師		3名
介護職員	2名	9（兼務1）名
運転手		8名
合計	4（兼務1）名	21（兼務1）名

③職員への教育実績

（令和3年3月31日現在）

内容	対象人数
プリセプター制度での新人教育	5名（デイサービス介護職員4名、ケアハウス事務員1名）
国家資格等の取得支援	0名

新規入職者5名に対してプリセプター制度での教育を行った。国家資格や任用資格等の取得希望者がおらず、支援実績は0名であった。

④研修

ア 法人内研修

- ・令和2年度 法人内研修会実施一覧

日程	研修名	実施者	参加職員数
6月13日	第1回感染症研修	感染症委員	17名
7月11日	令和2年度倫理・接遇研修	施設長	17名
8月8日	第1回身体的拘束適正化研修	身体的拘束適正化委員	17名

10月24日	第1回事故予防研修 (普通救命講習Ⅰ)	事故予防委員	23名
11月14日	第2回感染症研修	感染症委員	15名
12月19日	第2回身体的拘束適正化研修	身体的拘束適正化委員	16名
2月13日	第2回事故予防 (リスクマネジメント)研修	事故予防委員	19名

東京都軽費老人ホームの運営の基準に関する条例で定められている通り、感染症研修を年2回、身体的拘束適正化研修を年2回・事故予防研修を年2回実施した。普通救命講習受講により普通救命資格を23名が取得した。

イ 法人外研修

・令和2年度 法人外研修参加一覧

日程	研修名・委員会名	開催方法	主催者	参加者
6月4日	東京都認知症介護基礎研修	中止 ※1	東京都社会福祉協議会	デイサービス介護職員 3名
5月1日～ 8月31日	令和2年度事務職員研修	WEB	全国老人福祉施設協議会	施設長・ 事務員
11月13日 ～17日	介護技術に関する研修会	WEB	東京都社会福祉協議会	デイサービス介護職員 1名
11月16日	事業所における高齢者虐待防止に向けた取組みについて	実地	東京都福祉保健財団	施設長
11月30日	新型コロナウイルス感染症発生に関する報告会及び応援職員派遣事業説明会	WEB	東京都社会福祉協議会	事務長
11月30日、 12月1日～ 2日	応急手当普及員講習	実地	稲城消防署	施設長
12月7日	令和2年度レジオネラ症防止対策講習会	実地	南多摩保健所	ケアハウス 用務員1名
2月3日	生活相談員リスクマネジメント研修～高齢者福祉施設の新型コロナウイルス対策	WEB	東京都高齢者福祉施設協議会	ケアハウス 及びデイサービス生活 相談員2名
3月16日～ 20日	経営分析・財務分析に関する研修会	WEB	川原経営総合センター	施設長・ 事務員1名

※1 新型コロナウイルス感染症拡大のため、参加予定だったが研修自体が中止となった。法人外研修はコロナ禍のために中止や実地からWEBへ変更して開催されることが多かった。

⑤外部委員会及び会議への出席

・令和2年度 委員会参加一覧

日程	研修名・委員会名	開催方法	主催者	参加者
7月1日	令和2年度第1回新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会	WEB	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長
7月22日	令和2年度第1回稲城市高齢者施設長会	実地	稲城市	施設長
7月31日	令和2年度第1回軽費分科会	実地	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長
10月9日	令和2年度第3回新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会	WEB	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長
11月2日～3日	人材育成研修委員会	実地	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長
12月11日	令和2年度第2回軽費分科会	WEB	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長
12月25日	令和2年度第4回新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会	WEB	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長
3月11日	令和2年度第3回軽費分科会	WEB	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長
3月15日	令和2年度第5回新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会	WEB	東京都高齢者福祉施設協議会	施設長

各種委員会は、コロナ禍で中止や実地での会議からWEB（ZOOM）会議へ変更されることが多かった。

⑥超過勤務時間数の推移（単位：時間）

	令和元年度	令和2年度	差異	増減率
正規職員1人当り月平均	3.3	3.4	0.1	3%
非正規職員1人当り月平均	3.3	1.9	△1.4	△42.5%

超過勤務時間を減らすことを目標にしており、正規職員についてはほぼ変化はないが、非正規職員については、42.5%の減少率であった。主にデイサービス介護職員の超過勤務時間の減少が大きく、主な理由としては送迎表の見直しにより定時にミーティングを終えることを徹底したことによる。

(7) 地域貢献・地域交流

①やのくち子ども食堂開催実績

日程	参加人数	備考
4月～9月	中止	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため
10月28日	13名	新規2名

11月25日	14名	
12月23日	16名	新規1名
1月	中止	デイサービス利用者1名が新型コロナウイルス感染症陽性のため
2月24日	14名	
3月24日	13名	新規1名

令和2年度は弁当を事務所前で提供する形で実施した。

②つながろう矢野口会議（稲城市支援体制整備事業の第2層協議体）参加一覧

日程	内容	参加者
7月28日 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における災害時の避難について ・自粛期間の情報・意見交換 	施設長
12月14日 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・つながろう矢野口会の構成について ・ネームフォルダ、プレートの提案 ・「新たなつながりのかたち」について 	施設長

③弁天通り商店会の活性化や地域住民への周知を目的とした「弁天通り de ハロウィン」は令和2年度は開催されなかった。

(8) ホームページの運用

ホームページの新着情報では、年4回のハーモニー松葉だより、毎月のケアハウス・デイサービスの予定表、ハーモニー松葉食事だより、エイトピア工房焼き菓子の出張販売について、そらcafeクレープ移動販売のお知らせを中心に掲載した。随時、求人や新型コロナウイルス発生の状況等の情報発信を行った。

(9) 施設設備の保守・修繕

①実施した施設設備の修繕

日程	実施内容	業者
4月24日	居室ウォッシュレット便座交換	東二通信㈱
5月15日	軽自動車車検時修繕	渋谷自動車工業
6月15日	送迎車サイドミラー取り替え	トヨタ西東京カローラ
6月22日	居室電気不具合修繕	大石建設㈱
7月29日	消防設備不良不良箇所修繕	大石建設㈱
7月31日	居室照明修繕	大石建設㈱
8月25日	1階トイレハンドル修繕	大石建設㈱
10月23日	消火器の交換、非常放送設備の交換	大石建設㈱
10月28日	軽自動車ファンベルト交換	渋谷自動車工業
11月30日	居室退去時修繕	㈱ワールドシステムズ
12月18日	ろ過装置修繕	(有)タルヤ設備工業所

12月22日	デイルームピアノ調律	(株)タカハシミュージックプラザ
12月25日	居室トイレスイッチ交換	大石建設(株)
1月31日	厨房スチームコンベクションカートリッジ交換	日本給食設備(株)
2月15日	送迎車フロント・リアバンパー修理	渋谷自動車工業
3月17日	居室退去時修繕	(株)ワールドシステムズ
3月24日	食器洗浄機の新規入れ替え	日本給食設備(株)
3月25日	デイルーム内トイレ交換	(有)タルヤ設備工業所
3月29日	受水槽漏水修繕	(有)タルヤ設備工業所
3月30日	居室電磁調理器電源修理	大石建設(株)
3月30日	居室トイレノズル修理	パナソニック(株)

自動車：3件、トイレ：3件、居室内：7件(内退居時2件)、設備：4件、厨房：2件、デイ：1件

②実施した施設・設備整備

日程	実施内容	整備理由	備考
5月25日	製氷機 1機	従来の製氷機の故障のため	
10月21日	ノートパソコン2台	新型コロナウイルス感染症対策のため	東京都緊急包括支援金にて10割助成
11月26日	次亜塩素酸空間除菌脱臭機 ジアイーノ 1台	新型コロナウイルス感染症対策のため	東京都緊急包括支援金にて10割助成
3月12日	浴室脱衣所の椅子 2脚	入居者の安全のため	
3月24日	食器洗浄機 1機	食器洗浄機の動作不良のため	

※令和2年度中に計画していた空調設備改修工事は新型コロナウイルス感染症のために工期が令和2年4月1日～5月31日から令和3年5月11日～7月2日へ変更となった。

(10) 安全管理

①実施した定期点検（保守契約内）

日程	内容	業者
2月4日	消防用設備等保守点検（年1回）	大石建設(株)
常時	昇降機 遠隔監視メンテナンス	ジャパンエレベーターサービスグループ
5月14日、8月6日、11月19日、2月18日	昇降機設備 保守	ジャパンエレベーターサービスグループ
4月3日、6月4日、8月3日、10月5日、12月3日	電気工作物月次点検	小野家電気管理事務所

日、2月5日		
--------	--	--

(11) 稲城市日常生活支援総合事業通所型 C 事業（筋トシ）については、稲城市からの要請があり、引き続き収支や情勢などを考慮し検討していく。

Ⅱ. サービス事業別報告

1. 軽費老人ホーム ケアハウス ハーモニー松葉

年間入退所状況

(令和3年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
入居者数	29	29	29	29	29	30	29	29	29	30	29	30	351	29.25
新規入居者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	0.25
退去者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0.16
空室状況	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	9	0.75
入居率	96.7%	96.7%	96.7%	96.7%	96.7%	100.0%	96.7%	96.7%	96.7%	100.0%	96.7%	100.0%		97.5%

《重点的取り組み》

(1) 入居者処遇

① 食事サービスの充実

<目標>

- ・多様な食事を提供することで食べる楽しみを感じてもらう。
- ・食事に対する満足度を向上する。

<結果>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、自粛する行事や企画が多く、可能な範囲で実施した。

実施した食事サービス

月	特別食	企画食
4	お花見弁当	外食ツアー中止
5		外食&買い物ツアー中止
6		外食ツアー中止
7		流しそうめん中止
8	納涼祭屋台中止(※納涼祭自体が中止)	
9	敬老のお祝い膳(9/16)	外食ツアー中止
10		秋の味覚祭(焼さんま、芋煮汁)中止→代替え行事

		として旬の食材を使用した昼食を 10/29 に提供
11	刺身食 (24 食)	焼き芋会 14 名参加。外食&買い物ツアー中止
12	刺身食 (21 食)、クリスマスディナー (12/25)	餅つき中止→代替え行事として 2/2 にお汁粉会を実施 (27 名)
1	刺身食 (19 食)、お雑煮・おせち (1/1 朝昼)	握り寿司中止。外食ツアー中止
2	刺身食 (19 食)、恵方巻	ブリ解体ショー中止
3	刺身食 (24 食)	

・通常の食事(朝・昼・夕)に加えてアラカルトメニュー(有料)を用意し、入居者に好きな物を追加で自由に選んで召し上がってもらうことで食事の満足度の向上を図った。

アラカルト食は令和2年4月～令和3年3月末迄 延 1594 食 (一日当たり平均 4 食)

②介護予防

<目標>

- ・運動不足の解消と健康増進と運動の機会を設ける。

<結果>

- ・軽体操：週1回 計 43 回 延 249 名参加 (1 回当たり平均 5.7 名)
- ・散歩：週1回 計 35 回 延 155 名参加 (1 回当たり平均 4.4 名)
- ・ラジオ体操：毎日 令和 3 年 3 月より実施

③レクリエーション

<目標>

- ・入居者間の交流及び身体機能を維持する。

<結果>

- ・映画鑑賞会：月1～2回 (新型コロナウイルス感染症流行により 10 月まで自粛し 11 月より開始) 延 80 名参加 (1 回当たり平均 10 名)
- ・壁面飾り(七夕、納涼祭、ハロウィン、クリスマス)：七夕のみ 6/14、6/28 に飾り作りを実施。延 17 名参加。七夕及びクリスマスについては飾りつけを職員のみで実施。その他は中止。
- ・ゲーム(ボッチャ、輪投げ、卓球)：新型コロナウイルス流行により自粛。
- ・誕生会：2ヶ月に1回の計画だったが、新型コロナウイルス流行により自粛。
- ・ちょっと居酒屋：3ヶ月に1回の計画だったが、新型コロナウイルス流行により自粛。

④季節行事・外出活動

<目標>

- ・入居者の施設生活が単調にならないようにする。
- ・入居者同士が楽しく交流できる機会の提供。

<結果>

・実施した季節行事

実施日	内容	参加人数
8月13日	花火大会	14名
8月1日	納涼祭	新型コロナウイルス流行により自粛
9月20日	敬老会	保証人及び家族は不参加として実施。24名参加
12月20日	クリスマスディナー	26名
1月1日	新年会	24名
1月7日	初詣（穴澤天神）	4名
2月2日	節分	15名

※買い物・外食ツアー（2ヶ月に1回予定）・日帰りのバスツアー（年1回予定）は、新型コロナウイルス流行により自粛。

⑤地域交流・社会参加

<目標>

- ・地域社会と関わり、入居者の生きがいや励みに繋げる。
- ・地域交流・社会貢献活動の場を提供する。

<結果>

・地域行事への参加(防災訓練、文化センター作品展、地域のお祭り等)：新型コロナウイルス流行により各種地域行事は中止となったため未実施。

・地域貢献活動への参加(やのくち子ども食堂)：新型コロナウイルス流行により3月～9月は中止、1月は当施設デイサービス利用者に感染者が発生したため中止。10月より弁当配布方式にて再開。感染予防のため入居者は弁当の掛け紙にメッセージを書き、間接的な交流を持ってもらう形で参加。

・地域の社会資源の活用

*エトピア工房：月1回開催（4～6月、1月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

*屋外クレープ販売：月1回開催（1月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

*稲城市内の有志による出張販売(ミニマルシェ)：7月から11月まで月1回開催。

（12月以降は新型コロナウイルスにより中止）

⑥健康管理

<目標>

- ・入居者の健康状態の把握及び疾病の早期発見と感染症予防を行う。

<結果>

- ・看護師による健康相談：月2回実施。計16回開催 延150名利用。8月～10月、2月は新型コロナウイルス感染予防のため中止。
- ・入居者健康診断：日本介護福祉施設健診協会へ依頼し施設内での検診を令和3年3月9日に実施。24名が受診。（健康診断判定内訳：要経過観察4.2%、再検査25.0%、要治療継続70.8%）
- ・インフルエンザの予防接種実施：かじわらクリニックへ依頼し、令和2年11月11日、18日の2日間で実施。28名中23名が接種、うち5名は医療機関で接種。

⑦苦情解決・相談

<目標>

- ・苦情解決第三者委員会により苦情の早期解決及び予防対策を行う。
- ・意見箱から入居者から意見や要望を聞き取り不満解消や改善につなげる。
- ・満足度調査により入居者のニーズを把握し、施設運営に反映させる。
- ・家族・保証人会で運営面の理解と緊急時の対応の協力を得て、職員と保証人間の連携を深める。

<結果>

- ・令和3年3月22日に苦情解決第三者委員会を開催。今年度の苦情申し立ては0件。苦情につながりそうな2件のケースを委員会に議題として取り上げて、解決方法についての話し合いを行った。
- ・令和2年度の意見箱への意見は計4件寄せられた。そのうち3件は食事に関する要望、生活関連の要望が1件あり、いずれも回答及び改善に繋がった。
- ・満足度調査を令和2年12月に実施。運営に係る意見については次年度の事業計画へ反映させた。
- ・家族・保証人会の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。

⑧環境整備

<目標>

- ・衛生保持のため各種検査と清掃を定期的実施する。
- ・施設中庭及び建物内の保全と管理を行ない施設美化に努める。

<結果>

実施した各種検査及び清掃

日程	内容	頻度	業者
9月3日 3月4日	レジオネラ検査	年2回	一般財団法人東京顕微鏡院
9月3日	水質検査	年1回	一般財団法人東京顕微鏡院
1月22日	受水槽清掃	年1回	(有)タルヤ設備工業所
6月16日	排水管清掃（厨房内の排水管清掃）	年1回	株水研社

12月24日	害虫駆除	年2回	(株)京王消毒
12月29日	ワックス清掃	年1回	(有)ス・ツァツダ・メタルズ

- ・施設内カーテンのクリーニング(2年に一回実施)
東京リハビリ協会へ依頼し、11/14、21の2日間で各居室及び施設内のカーテンクリーニングを実施。

(2)施設運営

①入居稼働率の維持・向上

<目標>

- ・ケアハウス入居稼働率99.3%

<結果>

- ・入居稼働率は97.5%で目標値は達成できず。当年度は3室の入退所があったが、コロナ禍の影響で新規入居が遅れたことにより空室期間ができてしまったことが要因。令和3年3月末時点では男性3名、女性27名の計30名で満床となっている。

<目標>

- ・30名以上の待機登録者を確保する。

<結果>

- ・12月に待機者29名、年度末で26名の登録者数であった。2年度は3室の入退所と1名の待機登録辞退があったこともあり、目標の30名の登録には至らなかった。

<目標>

- ・待機者確保のため軽費老人ホームのパンフレットや広報誌を活用し近隣地方公共団体の高齢福祉担当者や包括支援センターに営業を積極的に行う。

<結果>

- ・施設の近隣の医療機関及び包括支援センターへ広報誌やパンフレットを配布、見学希望者を随時受け入れ待機者の確保に繋がるよう努めた。

②サービス提供補助金や助成金の確保

<目標>

- ・サービス提供補助金の適正運用を行うことや新規の加算・助成金の申請を行い財源を確保する。

<結果>

- ・補助金の加算として昨年度に継ぎ管理費特別加算(子ども食堂)を申請、認定を受けることで補助金の増額に繋がった。
- ・赤い羽根共同募金のB配分助成金を活用して入居者の健康診断を実施した。

③入居一時金の減額検討

<目標>

- ・入居の間口を広げるための入居一時金減額をするか否か決定する。

<結果>

- ・入居一時金減額の検討の結果、入居一時金 300 万とすることで入居者の過失による施設への損害賠償等が発生したときに対応できるため現状の入居一時金は維持することとした。

④省エネの励行

<目標>

- ・入居者の省エネ係に頼らず、職員が主導で省エネに取り組む。

<結果>

- ・新電力の契約見直しにより、基本料金の引き下げを行い、前年比で年間約 20 万円(約 4.7%)の引き下げに成功した。また、電力使用量の傾向について把握できたため、保守料の発生する節電コンシェルジュを解約した。

⑤災害対策、避難訓練

<目標>

- ・消防法に基づいた防災訓練（総合避難訓練 2 回）を行う。消防計画で決めている自主避難訓練を 2 ヶ月に 1 回実施する。

<結果>

- ・実施した防災訓練及び自主避難訓練

日程	訓練項目	内容	参加人数
7 月 11 日	自衛消防訓練	火災想定 避難訓練	28 名
12 月 14 日	総合防災訓練	日中火災想定 消火・通報・避難訓練	29 名
3 月 21 日	総合防災訓練	夜間火災想定 消火・通報・避難	29 名

※総合防災訓練について消防法で定められている年 2 回以上実施したが、自衛消防訓練については新型コロナウイルス感染症の影響により当法人の消防計画通りの回数を実施することができなかった。

<目標>

- ・災害時 BCP（事業継続計画）を作成し、中長期的な事業計画を立て災害時の初動対応やライフライン復旧までの指針として活用する。

<結果>

- ・災害時 BCP の雛形は完成、令和 6 年 3 月 31 日まで経過措置期間となっているため、それまでに策定を完了できるよう引き続き取り組む。

<目標>

- ・非常備蓄物に関して定期的な確認及び入れ替えを行い、50 名分 3 日分の水分・食糧を常

時備蓄し、献立表を立てるなど災害時に対応ができるよう整備する。

<結果>

- ・50名分3日分の備蓄食料の確保のため、賞味期限の管理を行い、一部食料の入れ替えを行った。

⑥委員会

<目標>

- ・入居者の生命・身体の安全及び健康保持を目的に各種委員会を開催し、安全配慮義務の遵守に努める。

<結果>

令和2年度 法人内委員会

日程	委員会名	内容	参加者
4月22日	第1回 感染症委員会	・年間スケジュール ・新型コロナウイルスについて	10名
4月22日	第1回 事故予防委員会	・今後の活動内容 ・事故報告書の判断基準及び通知の確認	10名
4月22日	第1回 身体的拘束適正化検討委員会	・委員会と指針の確認 ・今後のスケジュール	10名
7月11日	第2回 感染症委員会	・夏に向けての感染症対策	8名
7月31日	第3回 感染症委員会	・新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症対策	5名
8月3日	第2回 身体的拘束適正化検討委員会	・報告の集計と分析 ・研修内容の検討	7名
9月10日	第2回 事故予防委員会	・事故報告書の検証	7名
11月5日	第3回 身体的拘束適正化検討委員会	・報告の集計と分析 ・研修内容の検討	4名
1月5日	第4回 感染症委員会	・緊急事態宣言中の対応について	4名
1月18日	第3回 事故予防委員会	・事故報告書の検証	6名
1月18日	第4回 身体的拘束適正化検討委員会	・報告の集計と分析 ・令和2年度振り返り	8名

⑦内部監査などによるレセプト点検、内部牽制機能強化

<目標>

・運営基準等に則り運営や請求のレセプト点検を行うとともに、職員の主従体制による業務執行により内部牽制を行う。

<結果>

- ・作業に対して複数の担当者を配置し、レセプト点検を含め内部牽制を行った。

⑧職員会議

○職員会議

<目標>

- ・毎月 1 回実施し、各部署が行うサービス内容の改善点、周知事項について確認・協議する

<結果>

- ・毎月 1 回実施し、法人内の情報及び課題について共有・協議を行い適切な部署運営に努めた。

○ケアハウス運営会議

<目標>

- ・隔月 1 回実施し、入居者の状況把握、利用者処遇、行事内容、環境面を協議・検討する。

<結果>

- ・毎月 1 回実施。部署内の情報及び課題、入居者処遇等について共有・協議を行いサービスの向上に繋がった。

⑨地域包括ケアシステム構築への取組み

<目標>

- ・施設が地域の問題を捉え、地域の問題を地域住民である入居者の問題として介入していく。

<結果>

- ・つながろう矢野口会議に施設代表として施設長が参加し、地域における課題について協議及び意見交換を行った。

⑩入居者が参画する係

<目標>

- ・入居者から住環境係、食事係、行事係を選出し、職員と会議を行い、運営面で入居者の意見を吸い上げる。

<結果>

- ・入居者から住環境係 2 名、食事係 2 名、行事係 2 名を選出し、3 ヶ月に 1 回の会議に同席した。入居者からの意見をもとに運営面で反映できる事項は入居者懇談会で提案し、反映させた（アラカルト食の内容、風呂の椅子の変更、掲示物の掲示方法、イベント風呂の内容など）。

⑪TOKYO働きやすい福祉の職場宣言を行う

<目標>

- ・人材確保と求職者の職場探しの支援のため、働きやすさに関する情報を公表する。

<結果>

- ・10月23日にTOKYO働きやすい福祉の職場宣言を行った（有効期限は3年間）。東京都福祉人材バンクシステム「ふくむすび」で職場宣言事業所の情報が公表された。

2. 老人デイサービスセンター ハーモニー松葉

令和2年度利用状況

月	実利用者数	延利用者数	平均利用者数	平均介護度	新規利用者	終了利用者
4	69	514	19.8	1.5	1	
5	61	473	18.2	1.5	2	4
6	76	591	22.7	1.4	5	5
7	85	669	24.8	1.4	8	7
8	70	579	22.3	1.4	1	5
9	75	609	23.4	1.4	2	1
10	80	659	24.4	1.4		2
11	80	613	24.5	1.3	1	1
12	78	574	23.9	1.4		2
1	76	479	22.8	1.5		3
2	73	546	22.8	1.5	2	2
3	74	642	23.8	1.4	1	1
合計		6948	22.8	1.4	23	33

《重点的取り組み》

(1) 新型コロナウイルス感染予防対策

<目標>

- ・利用者が新型コロナウイルス感染症にならないように予防する。

<結果>

①自宅での検温と体調管理、利用者同士 1m間隔を空けた席のレイアウト、アクリル板の設置、手指消毒、飲食以外のマスク着用、使用した鉛筆のアルコール消毒、送迎車内を外気循環に設定することを徹底し利用者が安全に過ごせるよう努めた。

②帰りのミーティングでその日に気が付いた職員の言葉かけでの失敗・成功例を共有し、月1回のデイミーティングの際に職員全員で共有する。マナー研修・リスクマネジメント研修の実施により職員の意識を統一することができた。

③新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、音楽グループの中止や参加人数を制限して実施した。

(2) 個別性を重要視したサービスの提供

<目標>

- ・ICFに基づいた評価を行い、利用者1人ひとりに適したサービスを提供する。

<結果>

・計画書の様式を変更し新たな項目を追加したことで、多面的な視点から利用者の状況を把握することができ、利用者を個別で捉える意識が向上した。しかし、利用者のニーズは把握できたが、新型コロナウイルス感染拡大によるグループ活動の自粛で利用者の希望に沿った

プログラムを組むことが難しく、一人ひとりに適合したサービス提供までは至らなかった。

(3) 客観的評価としての身体機能測定の実施及びケアマネージャーへの伝達

<目標>

- ・身体機能評価の4項目を3ヶ月毎に測定する。
- ・効果判定を利用者・家族・ケアマネージャーへ伝達する。

<結果>

・初期評価として測定はしたが、現場の負担が大きくなり継続して実施できなかった。令和3年度に代替案として加算に結びつく評価を行うこととなった。

(4) 家族会の実施

<目標>

- ・年1回家族会を行い、意見交換を行なう。

<結果>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止した。

(5) 自立支援を促す介助

<目標>

- ・自立支援の妨げにならないように利用者にあった介助を行う。

<結果>

・帰りのミーティングや月1度のデイミーティングで該当する利用者のケースカンファレンスを行ない、利用者にあった介助を心がけ過介助にならないよう努めた。

(6) 送迎に関する会議の実施（年2回）

<目標>

- ・年2回運転手と正規職員で運転手会議を行い、事故予防のためのルート確認、情報共有を行う。

<結果>

・令和3年2月18日・20日の2日間で運転手会議を実施。感染予防対策の周知と運転マニュアルや送迎ルートの確認を行なった。※令和2年度1回目の会議は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から実施しなかった。

(7) 介護予防体操

<目標>

- ・柔軟性と筋力向上トレーニング、口腔体操を中心とした運動プログラムを行う。利用者に合わせて変更していく。

<結果>

- ・サービス利用日の午前中30～40分間の介護予防体操を実施した。柔軟性と筋力向上ト

レーニング、口腔体操を中心としたプログラムを組んだ。※新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、不特定多数の方が使用するセラバンドやボールの使用を中止した。

(8) レクリエーション

①グループ活動

<目標>

・利用者の個々の興味・関心に近いレクリエーションを自己決定してもらう。職員は利用者の興味・関心を把握する。

<結果>

・計画書様式を変更したことで、利用者・家族からの意向の聴取に漏れがなくなり、希望や関心に沿ったレクリエーションを勧めることができた。

実施したグループ活動

グループ名	曜日	頻度	実施内容	参加人数
運動	月	未実施	※新型コロナウイルス感染拡大予防のため	0名
アート	火	隔週	登録人数8名。ニーズが多く希望者全員で行うと密になってしまうため、2グループに分けそれぞれ隔週で実施する予定だったが、プログラムが手工芸の際はアートグループも手工芸に参加した。	延 96名
音楽活動	水	未実施	※新型コロナウイルス感染拡大予防のため	0名
玩具	月 水 土	毎週 ※ R2.4 ～6 は自 粛	登録人数4名。麻雀を中心にメンバーが揃う日は実施。令和2年4月に緊急事態宣言が発出されてから、2か月間麻雀の活動は自粛していたが感染予防を徹底し6月より再開。	延 480名
美容・整容	木	毎週	登録人数3名。参加人数を縮小して密にならないよう、メイク道具も都度消毒を行ないながら実施。	延 144名
園芸	金	隔週	登録人数4名。テーブル花の作成やお庭の草花のお手入れ。	延 96名

②季節行事・外出活動等

<目標>

・利用者が1年間飽きずに楽しめるように季節感にちなんだ行事を定期的に行う

<結果>

実施した季節行事

実施日	内容	参加人数
9月21日	敬老会 (ビンゴ大会を行ない利用者全員にお祝いの品物をプレゼントした)	23名

12月25日	クリスマス会 (正職員によるひげダンスを披露。サンタとトナカイに扮した職員が利用者にプレゼントをお配りし、シャンメリーとクリスマスケーキをおやつに提供した。ビンゴ大会も実施)	22名
--------	--	-----

※予定していたお花見バスツアー、こいのぼり見学、紫陽花バスツアー、納涼祭、デイサービス縁日、秋の行楽ツアー、紅葉バスツアー、餅つき大会、新年祝賀会、初詣、梅見ツアー、ひな人形見学ツアーは新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止。

- ・外食ツアー（毎月）、おやつ作り（毎月）、小学生との交流会（年1回）、稲城市民祭作品展覧会への出展（年1回）は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止。

(9) 人材育成・サービスの質の均一化

○プリセプター制度について

<目標>

- ・新人看護・介護職に対し、経験のある先輩看護職・介護職が広範囲にわたって手本を示し、OJT指導計画に沿って指導を行う。

<結果>

- ・対象の新人介護職員4名に対し、正規職員又は嘱託職員がプリセプターとなり、1人のプリセプターにつき2人のプリセプティを担当。業務チェックシートを活用し、勤務毎に業務終了後自己評価と照らし合わせ10分ほどの面談を行った。

(10) 伝達講習の義務化

<目標>

- ・外部で研修を受けた職員はデイミーティング内で他職員へ伝達講習をする。

<結果>

- ・参加を予定していた研修が新型コロナウイルス感染予防の観点から、延期または中止となり職員が研修自体に参加できず実施しなかった。

(11) 職員会議の開催

<目標>

- ・デイミーティングを月1回行う。

<結果>

- ・デイミーティングは毎月第2土曜日に実施し、ヒヤリハット・事故報告書の原因と対策を共有し事故予防に努めた。ケースカンファレンスから個々の身体機能に合わせた介助方法を共有し過介助など、無駄のない介護を行うよう努めた。

(12) ボランティアの受け入れ

<目標>

- 受け入れ機関として快適に活動できるように受け入れ体制を整える。
- 昼食時の見守りやお茶出しを1日1名お願いします。
- 社会福祉協議会ボランティアセンターと連携しボランティアの紹介を依頼する。

<結果>

- 新型コロナウイルス感染予防の観点から受け入れを中止したため実施できなかった。

(13) 令和2年度 年間利用者数の目標値と実績

	1日平均延利用者数	年間延利用者数	備考
目標値	31名	9,548名	※年間営業日数は308日で試算
実績	22.8名	6,948名	コロナ感染者の利用が判明したことで自主休業した為、営業日数は305日となった
差	△8.2名	△2,600名	

3. 介護予防体操教室事業

《重点的取り組み》

(1) 実施概要

介護予防体操教室利用状況

月	登録人数	実利用者数	延利用人員数	稼働率
11	14	14	61	87%
12	14	13	46	82%
1	14	12	22	52%

①1回の定員 15名

②1回90分、全12回で実施。

※当初令和2年4～5月の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため延期し、令和2年11月1日～令和3年1月24日で開催。

③2回目の緊急事態宣言発令中は自粛する利用者が多く延べ利用者数が下がった。1月21日に当デイサービス利用者で感染者が発生したが、1月24日は予定通り開催した。

④運動指導員1名、補助指導員1名、計2名の職員を配置した。

(2) 利用者へのサービス内容

①新型コロナウイルス感染症対策

- ・定員を25名から15名へ変更した（ソーシャルディスタンスを保つため）
- ・自宅での検温と事務所前での検温
- ・2m間隔で椅子を設置
- ・血圧計等、共有で使用するものは使用する度に消毒液で消毒
- ・1時間に5～10分の換気を行う

②介護予防マニュアルに従い以下に掲げる各種サービスを利用者のニーズと必要に応じて行った。

- ・介護予防に関する講話
- ・運動機能向上に関する講話と実践
- ・ホームプログラムの指導（自宅用資料の配布）
- ・利用者アンケート実施・集計

(3) 適切な事務

①稲城市へ委託金374,000円の請求を行った。

②稲城市へ利用者からのアンケートや利用状況等の報告を行った。

(4) 自主グループの支援

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から令和2年3月より自主グループ「サフラン会」の活動を中止し、令和2年度の活動はなかった。